

内臓機能生理学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Abe C, Katayama C, Bazek M, Nakamura Y, Ohbayashi K, Horii K, Fujimoto C, Tanida M, Iwasaki Y, Inoue T, Nin F, Morita H: Repeated activation of C1 neurons in medulla oblongata decreases anti-inflammatory effect via the hypofunction of the adrenal gland adrenergic response. *Brain, behavior, and immunity* 111: 138-150, 2023. doi: 10.1016/j.bbi.2023.04.003. (IF: 15.1)
2. Umene R, Nakamura Y, Wu CH, Kumiko Muta, Nishino T, Inoue T: Induction of tetraspanin 13 contributes to the synergistic anti-inflammatory effects of parasympathetic and sympathetic stimulation in macrophages. *Biochemical and biophysical research communications* 665: 187-194, 2023. doi: 10.1016/j.bbrc.2023.04.118. (IF: 3.1)
3. Nakamura Y, Matsumoto H, Wu CH, Fukaya D, Uni R, Hirakawa Y, Katagiri M, Yamada S, Ko T, Nomura S, Wada Y, Komuro I, Nangaku M, Inagi R, Inoue T: Alpha 7 nicotinic acetylcholine receptors signaling boosts cell-cell interactions in macrophages effecting anti-inflammatory and organ protection. *Communications biology* 6(1): 666, 2023. doi: 10.1038/s42003-023-05051-2. (IF: 5.9)
4. Inoue T, Umene R, Sung S-SJ, Tanaka S, Huang L, Yao J, Hashimoto N, Wu C-H, Nakamura Y, Nishino T, Ye H, Rosin DL, Ishihara K, Okusa MD: Bone marrow stromal cell antigen-1 deficiency protects from acute kidney injury. *American journal of physiology. Renal physiology* 326(2): F167-F177, 2023. doi: 10.1152/ajprenal.00175.2023. (IF: 3.7)
5. Macalinao ML, Inoue S, Tsogtsaikhan S, Matsumoto H, Bayarsaikhan G, Ian J, Kimura K, Yasumizu Y, Inoue T, Yoshida H, Hafalla J, Kimura D, Yui K: IL-27 produced during acute malaria infection regulates Plasmodium-specific memory CD4+ T cells. *EMBO molecular medicine* 15(12): e17713, 2023. doi: 10.15252/emmm.202317713. (IF: 11.1)

A-b

1. Nakamura Y, Inoue T: Tolerogenic dendritic cells: promising cell therapy for acute kidney injury. *Kidney international* 104(3): 420-422, 2023. doi: 10.1016/j.kint.2023.06.015. (IF: 19.6)

A-e-1

1. Umene R, Wu CH, Nakamura Y, Inoue T, Nishino T: WCN23-0404 Synergistic anti-inflammatory and renal protective mechanisms mediated by parasympathetic and sympathetic nervous stimulation via immune system. *Kidney International Reports* 8(3): S30-S31, 2023. doi: 10.1016/j.ekir.2023.02.067.

B 邦文

B-e-1

1. 梅根 隆介, Wu Chia-Hsien, 中村 恭菜, 井上 剛, 西野 友哉: 神経系・免疫系のクロストークを介した血圧制御メカニズムの解明. *日本生理学雑誌* 85(2): 3, 2023.
2. 牟田 久美子, 梅根 隆介, Wu Chia-Hsien, 中村 恭菜, 井上 剛, 西野 友哉: マクロファージにおける交感神経と副交感神経を介した相乗的抗炎症メカニズムの解明. *日本生理学雑誌* 85(2): 2, 2023.
3. 副島 駿太郎, 呉 家賢, 井上 剛, 熊井 良彦: 迷走神経刺激によるマウス嚙下関連筋線維化抑制を介した誤嚥予防法の検討. *日本生理学雑誌* 85(2): 6, 2023.
4. 梅根 隆介, 呉 家賢, 中村 恭菜, 西野 友哉, 井上 剛: 交感神経および副交感神経刺激を介した相乗的抗炎症・腎保護メカニズムの解明. *日本腎臓学会誌* 65(3): 281, 2023.
5. 呉 家賢, 井上 剛: Activation of cholinergic anti-inflammatory pathway attenuates monocyte-endothelial adhesion through FUT7 inhibition. *日本生理学雑誌* 85(2): 1, 2023.
6. 中村 恭菜, 井上 剛: アセチルコリン受容体刺激は脾臓のマクロファージ細胞連関を惹起し抗炎症効果を発揮する. *日本生理学雑誌* 85(2): 4-5, 2023.
7. 橋本 典樹, 中村 恭菜, 呉 家賢, 井上 剛: スフィンゴシンキナーゼ 2 の下流遺伝子 Bst1 は, 腎虚血再灌流障害および腎臓線維化の進展に重要である. *日本生理学雑誌* 85(2): 6-7, 2023.

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
1	0	2	6	1	6

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
井上 剛・教授	評議員	日本生理学会
井上 剛・教授	ダイバーシティ推進委員	日本腎臓学会
井上 剛・教授	JSN Next Frontiers 2028 委員会	日本腎臓学会
井上 剛・教授	褒賞選考部会	日本腎臓学会
井上 剛・教授	学術調査官	文部科学省
井上 剛・教授	評議員	日本腎臓学会

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研究題目
井上 剛・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(B)「オプトジェネティクスの技術を活用した腎交感神経の機能解明」
井上 剛・教授	公益財団法人 内藤記念科学振興財団	代表	内藤記念科学奨励金・研究助成「腎臓恒常性維持におけるアセチルコリン産生細胞の意義」
井上 剛・教授	公益財団法人上原記念生命科学財団	代表	研究推進特別奨励金「光による神経刺激法を用いた腎交感神経の機能解明」
井上 剛・教授	公益財団法人 ソルト・サイエンス研究財団	代表	医学分野プロジェクト研究助成「神経系-免疫系を介した塩分感受性高血圧制御メカニズムの解明」
井上 剛・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C)「特発性多中心性キャスルマン病の病型をクラスタリングする分子基盤研究」
井上 剛・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(B)「マクロファージのヒエラルキー決定によるMROJ病因解明と新規治療法開発基盤構築」
井上 剛・教授	公益財団法人 アステラス病態代謝研究会	代表	研究助成「脳腎連関を介した腎疾患制御機構」
井上 剛・教授	公益財団法人 テルモ生命科学振興財団	代表	開発助成「抗炎症・臓器保護効果発揮を目指した超音波刺激装置の開発」
井上 剛・教授	公益財団法人 喫煙科学研究財団	代表	研究助成「尿細管細胞におけるニコチン受容体の機能解明」
井上 剛・教授	国立研究開発法人科学技術振興機構	代表	2021年度創発的研究支援事業「アセチルコリンで切り拓く新たな恒常性維持機構の解明」
井上 剛・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(B)「食事性神経-免疫系の活性化で目指す誤嚥性肺炎の予防・軽減と健康寿命延伸戦略」
中村恭菜・助教	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 若手研究「腎臓線維化の抑制に関わる新規因子Bst1の腎臓での発現・作用機序を明らかにする」

呉 家賢・助教	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 若手研究「新規長鎖ノンコーディングRNAを介した動脈硬化発症機序の解明」
梅根隆介・大学院生	公益財団法人 鈴木謙三記念医科学応用研究財団	代表	オプトジェネティクスを活用した腎臓交感神経制御による新規腎臓病治療法の開発
井上 剛・教授	日清紡マイクロデバイス社	インプラントブルデバイスの基礎研究	

その他

非常勤講師

氏名・職	職 (担当科目)	関係機関名
井上 剛・教授	非常勤講師 (生理学)	神戸大学医学部

学術賞受賞

氏名・職	賞 の 名 称	授与機関名	授賞理由、研究内容等
中村恭菜・助教	一般演題優秀演題賞 (基礎)	日本腎臓学会	アセチルコリン受容体刺激は脾臓のマクロファージ細胞連関を惹起し抗炎症効果を発揮する
呉 家賢・助教	日本生理学会九州奨励賞	第73回西日本生理学会	Activation of cholinergic anti-inflammatory pathway attenuates monocyte-endothelial adhesion through FUT7 inhibition.